



八月には、広島原爆の日、長崎原爆の日、終戦記念日などが設けられており、戦争行為の愚かさや反省についての論議や行事が多く催されます。太平洋戦争による歴史的な悲劇を記憶し反省し、平和を願い、実現するためにこれらの中の日が定められているのです。

しかし、八月はお盆の季節として、仏教文化の盂蘭盆会の影響から、戦争による犠牲者への追悼の思いが強い様です。戦争による犠牲者 戦没者の魂の平安を祈ることは大切ですが、そ

神による平和 の おとずれ

司祭 ミカエル 岡崎

正

義務の問題である、というのです。そしてその実現のために、必要な、厳しい、いくつかの具体的な条件をあげています。

ヨーロッパでは、十一月十一日を「世界平和記念日」と設定しています。約百年の昔、一九一八年（大正七年）のこの日、全ヨーロッパに休戦ラッパが鳴り響き、もう二度と戦争を起さないようとの願いをこめて設定されたのですが、30年後には、また第二次世界大戦が起ってしまったのです。だれもが平和を望んでいるのに、なぜ戦争が無くならないのでしょうか。

国際連合、軍縮運動、国際法の充実などとして実現されていました。しかし、カントのいう条件を守つたところで平和が地上に来るのは考えられません。残念ながら、人間の理念や努力だけでは、「永遠の平和」という理想を実現できません。現在のところ、わたしたちは「永遠の平和」と「戦争・紛争・テロの絶え間ない現実」との狭間に生き続けているのです。

十字架による平和

国際連合、軍縮運動、国際法の充実などとして実現されていました。しかし、カントのいう条件を守つたところで平和が地上に来るのは考えられません。残念ながら、人間の理念や努力だけでは、「永遠の平和」という理想を実現できません。現在のところ、わたしたちは「永遠の平和」と「戦争・紛争・テロの絶え間ない現実」との狭間に生き続けているのです。

われて十字架にかかり、神とわたくしたちの間を和解させ、平和をもたらして下さったのです。パウロは、「實に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、ご自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律すくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方をご自分において一人の新しい人に造

平和を実現する人

りかえて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によつて敵意を滅ぼされました。」（エフェソ2：14～16）と述べています。主イエスは、敵を滅ぼすことによつて平和をもたらしたのではなく、敵意を自らの犠牲で取り除くことによつて平和をもたらしたのであり、十字架において示されたこの愛こそが眞の平和をもたらすのであると、パウロは教えています。

平和を実現する人

十字架の血によつて罪をゆるされた人だけが、よくその愛を実行に移すことができるのです。それはむずかしいことです。罪の世にあって、争いの絶えないこの世界で、十字架の愛を実行するときに、多くの困難と苦しみに会うでしょう。しかし、恐れることはありません。「あらゆる人知を越える神の平和が、あなたがたの心と考え方をキリ

パクス・ロマーナ

パクス・ロマーナという言葉があります。「ローマ的平和」という意味です。ローマ帝国がその国家の力によって、軍隊の治安の下で平和が維持されたことを賞賛した言葉です。しかし、三百年の後には巨大なローマ帝国も滅んでしまったのです。力による平和はほんとうの平和ではありません。

現代の、核の抑止力、軍事力

う」（ピリピ4・7）とパウロの言うとおり、神はわたしたちの努力を守って下さる。わたしたちは固い信仰をもって眞実の平和、永遠の平和の実現のために努力したいものです。「平和を実現する人々は幸いである、その人たちとは神の子と呼ばれる」（マタイ5・9）とのイエスの祝福が与えられるようにわたしたちも祈り、努めて行きましょう。（神戸教区退職司祭）

う。
(神戸教区退職司祭)

現代の、核の抑止力、軍事力

A black and white portrait of Dietrich Bonhoeffer, a man with glasses and a clerical collar.

たしたちは一つの希望が与えられていました。

治安の下で平和が維持されたことを賞賛した言葉です。しかし三百年の後には巨大なローマ帝国も滅んでしまったのです。力による平和はほんとうの平和ではありません。

う。
(神戸教区退職司祭)

日本聖公会 神戸教区報

務所
05469
01095
g/kobe/
一秀 創所

2013年
8月号

発行所
教区事務所
078(351)5469
078(382)1095
www.nskk.org/kobe/
発行責任者
芳我秀一
印刷所
日堂印刷所



沖縄慰霊の日の礼拝にて

沖縄教区行事の「慰霊の日」礼拝のことでした。聖歌42番「命どう宝（命こそ宝）」を歌った時、6年前一緒にこの鉛錆までの日々を過ごしたのを感じなければと思いながら、沖縄教区行事の「慰霊の日」禮拝のことでした。

3番「命どう宝（命こそ宝）」を歌った時、6年前一緒にこの鉛錆までの日々を過ごしたのを感じております。

近頃、わたし自身の想像力や共感力といった「感じる力」が鈍くなっていることに焦りを感じおり、旅に参加して何かを感じなければと思いつながら、沖縄教区行事の「慰霊の日」禮拝のことでした。

た頃、6月21日（金）～24日（月）、3泊4日の「2013年沖縄週間～沖縄の旅～」に参加させて頂きました。

近頃、「沖縄の旅」に参加した友人のことを思い出しました。「彼女ならきっとこの場に来ていっしょに歌いたいだろうなあ」。なぜならあの時も、この旅を通してたくさん学びと気づき、そして分かち合いの時を得たからです。

そんなことを考えていると隣りから、後ろから、今回、共に参加することができた友人達の歌声が聞こえてきました。とても哀しくて、大切なことを思い出させてくれる「命どう宝」。

強く優しいみんなの歌声がどんどんわたしの中に入ってきた時は、もう胸がいっぱいです。途中歌うことができませんでした。

ドキュメンタリー『標的の村』の中で、ヘリパッド建設を反対する地元住民と、それを押し切ろうとする防衛局との衝突が熱くなり始めた時、大きな声が響きました。「喧嘩しないで！歌をうたって！」歌には人の心を動かす力があるのだと思います。沖縄に来るまで、わたしの心は無関心で凝り固まっていました。

（高知聖パウロ教会信徒）

アグネス 近森仁美

2013年沖縄週間～沖縄の旅に参加して～

2012信託神学塾スクーリング報告 ～神さまの息のかかった生活・実践編～

信託神学塾委員長 司祭 マルコ 藤井 尚人



分かち合いの時間

7月20日（土）、神戸聖ミカエル大聖堂を会場にして、講師に植松功さん（祈りと黙想の集い世話人）をお迎えして、信徒神学塾スクーリングが開催されました。参加者は神戸教区の枠を超えて、遠くは、北海道、東京、奈良、などから約70名（含むスタッフ）でした。



植松功氏の講話は心に迫りました。

「♪ここにとどまれ、わたし

と、ここにとどまれ、祈れ♪」

というテゼの歌が始まつた講義

は「人が集うことから教会は始まりました。大切なことは、たとえ用事がなくとも、ただ、あなたに会いたかったんです」と、誰かを訪ねること、誰かに訪ねられること」という招きのメッセージに続き、「たとえば、祈祷書に示されている信徒の務め」としての断食日（大斎始日・受苦日）は守っておられますか？

もしも、世界中のクリスチヤン

が同時に断食を神さまにお捧げできたら、何と大きな喜びでしょう」と祈りの生活についての導きを語られました。

昼食の後、礼拝堂に場所を移し参加者一同は、実際に「テゼの祈り」をお捧げしました。

「弟子たちの～こんなはずではなかった～という挫折の体験から教会は誕生したのです。」と

いう植松さんの確信に満ちた言葉を胸に刻みつつ、本年度のスクーリングは閉会しました。

「♪かみへのいけにえは、くだかれたそのたましい、くだかれた、悔いたところを、主はよろこばれる♪」

（神戸聖ヨハネ教会牧師）



大聖堂地階ホールで行われた講義

2013年 神戸伝道区信徒修養会 見よ、兄弟がともに座つてゐるゝ港町神戸のエキュメニカルな集い



講師の片柳弘史神父（中央）と受講者の皆さん

7月15日（月・海の日）、神戸聖ミカエル教会を会場に「マザーテレサの光と闇」をテーマに、神戸伝道区信徒修養会が開催されました。

「見よ、兄弟が共に座つてゐる。何という恵み、何という喜び（詩編133・讃美歌21より）」を一同で賛美した後、講師の片柳弘史神父（六甲カトリック教会助任司祭）は、御自身とマザーテレサとの出会いを語られた後、



午後からの講話では、マザーテレサの言葉、残された手紙などから、いわゆるゝ靈的な闇について、「マザーテレサにとつての救いとは、イエスが人間と同様苦しみを十字架の死に至るまで苦しんで下さったことを

マザーテレサは、修道院中の電気をいつも消して廻られ、ある時は、階段から足を滑らせて骨折されたこともあった」という、実際にマザーテレサと生活を共にされた片柳神父ならではのエピソードも紹介して下さいました。

講演後は、吉谷かおる姉（ハラスマント対策委員）により、講話の最後には、聖公会に敬意を表して（！）、参加者一同をマザーテレサがミサの最後にいつも唱えておられた「ニューマン枢機卿の祈り（注）」に導いて下さり、「今日のカトリック教会の問題は」という質疑応答には、

「信徒の高齢化、若者の減少、幼児洗礼の激減、教会の財政的維持、多分、聖公会と同じですよ」とユーモアを交えて、参加者を励まして下さいました。
＊＊＊

(注)ジョン・ヘンリー・ニューマン枢機卿について
(1801年生～1890年没)

19世紀前半、英國国教会の信仰刷新を目的とした、オックスフォード運動（トラクト運動）の指導者一人。聖公会司祭また神学者であったが、やがてカトリック教会に改宗し、最終的に枢機卿となった。彼の神学は、後の第2バチカン会議にも影響を与えたと言われる。2010年9月に福音者に列せられた。

「ニューマン枢機卿の祈り」

イエスさま、私がどこにいても、あなたの香りを放つことができますように、私を助けてください。

私の心をあなたの靈と命であふれさせてください。

私の存在に染み透り、私を捕らえ尽くすことによって、私の生活のすべてが、ひたすらあなたの光を輝かすものとなりますように。

私をあなたの光を輝かせるものとしてお使いください。

私が出会うあらゆる人々が、私の中にあなたの姿を感じることができますように、私のうちで輝いてください。

主よ、人々がもはや私ではなく、あなただけを見ますように。

私の中におとどまりください。そうすれば、私があなたの光で輝き、私の光で他の人々も輝くことができるのです。

主よ、光はすべてあなたのもの、ごくわずかの光でさえ、私のものではありません。あなたが私を通して人々を照らしておられるのです。

私の周囲にいる人々を照らすあなたへの賛美を、私の唇にのぼらせてください。

言葉よりも行動で、私の生き方、あなたから与えられる私のあなたへの愛が、目に見える光となって、あなたを人々にのべ伝えることができますように。

マザーテレサは、修道院中の電気をいつも消して廻られ、ある時は、階段から足を滑らせて骨折されたこともあった」という、実際にマザーテレサと生活を共にされた片柳神父ならではのエピソードも紹介して下さいました。

講演後は、吉谷かおる姉（ハラスマント対策委員）により、講話の最後には、聖公会に敬意を表して（！）、参加者一同をマザーテレサがミサの最後にいつも唱えておられた「ニューマン枢機卿の祈り（注）」に導いて下さいました。自分の知らない間に大切な人を傷つけてしまわないと、めには、何よりも、目の前の人には、自分とは異なる、いろいろな考え方や、感じ方をするものである、という相手の人格を尊重する姿勢が、先ず何よりも出発点であるということを学び、一同、神戸伝道区の信徒修養会を散会しました。

＊＊＊
講演後は、吉谷かおる姉（ハラスマント対策委員）により、講話の最後には、聖公会に敬意を表して（！）、参加者一同をマザーテレサがミサの最後にいつも唱えておられた「ニューマン枢機卿の祈り（注）」に導いて下さいました。自分の知らない間に大切な人を傷つけてしまわないと、めには、何よりも、目の前の人には、自分とは異なる、いろいろな考え方や、感じ方をするものである、という相手の人格を尊重する姿勢が、先ず何よりも出発点であるということを学び、一同、神戸伝道区の信徒修養会を散会しました。



☆パイプオルガン・ニュース

部品調達などの関係で遅れていましたパイプオルガン組立が英国の製作所で開始され、一旦組み立てられた後、分解され、コンテナに梱包されて神戸に向けて送られて参ります。船旅ですので、少し時間はかかりますが、間もなく、この写真にある姿が大聖堂で見られます。楽しみです。

鳩だより

敬略

6月21日(金)
ヨハネ高
大阪教区大阪城

同 橋 秀 直

ハンナ長岸和美
ヨハネ井上裕一朗
徳島インマヌエレ教会

アンデレ 谷口 佳之(68歳)
明石聖マリア・マグダレン教会

テモテ 田中 稔穂(81歳)
浜田基督教会

グレース 末永 忍
北関東教区日立聖アンデレ教会より
明石聖マリア・マグダレン教会へ

◎神戸昇天教会

（付録）
7月15日（月）10：30
神戸聖ミカエル教会にて、講
師に片柳弘志神父（六甲カト
リック教会司祭）を迎えて、マ
ザー・テレサについての講演
を聞いた。
（3頁参照）

神戸伝道区

1日	伝道師	緒方 政枝
3日	伝道師	上西 八枝
4日	執事	ラザロ 布施 好古
9日	伝道師	三宅 福恵
10日	司祭	ステパノ 片山民治郎
12日	主教	ヘンリー・エビントン
13日	宣教師	レティシア・N・エドワーズ
16日	司祭	ウイリアム・マレー ウオルトン
17日	司祭	アブラハム 米村 勇雄
20日	伝道師	吉田 照子
不明	宣教師	ドロシー・グレッグソン

話し頂いた。脳をストレスから守ることが大事であるが、教会生活は、その点から見ても望ましいというお話しであつた。60名以上が参加され、その半数が当教会信徒以外からの参加であった。

2013年度の広島伝道区信
徒研修会が、徳山聖マリア教

福音の光修道会の川岡俊子修女様をお招きし、「ネパール・ボカラからのメッセージ」をテーマに、ネパール国の紹介などをペールでの活動、これから語られました。

ネパールでは、ここ10年で受洗者が増えているそうです。

山陰伝道区

伍道岡合同野球社

7月28日(日)、当教会にて逝去記念式と偲ぶ会が行われました。故人の主にある平安をお祈りいたしました。

一 信徒のための日本聖公会法憲
法規

講師：司祭 上原 信幸
(神戸聖ミカエル教会牧師)

○ 七月
神戸聖ミカエル大聖堂で
スクリーニングの予定

伝道区の合同野外礼拝が行なわれましたことは、大きな恵みでした。月山のふもとを流れる富田川の畔でさわやかな風と共に主の食卓に連なり、神さまの創造された大自然の恵みと伝道区の一致を実感しました。また、食後には地元の郷土史家の方から広瀬町についてお話を聞き、尼子の里広瀬町の歴史と文化に触れる良い機会を与えられました。

②12月・1月・2月
「詩編のこころ」

講師・准教授 長谷川 修一
(盛岡大学准教授)

授業方法：通信教育及び年1回のスクーリング

2013年度
信徒神学塾開講のお知らせ

* 詳細は各教区に配布の案内。
* 申込書を「」見てください。お問い合わせは神戸教区事務所まで。